

教科	数学科	学年	第 3 学年	担当者	森下 幸一郎
----	-----	----	--------	-----	--------

【教科目標】

基礎的な学力の定着を図り、数学的な考えを用いて様々な問題を解くことができる。

【使用教科書・教材等】

教科書 : 東京書籍 新編新しい数学3年
ワーク : 東京書籍 数学の学習ノート

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい (身につけたい力)	準備物
1 学 期	1章 多項式	文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形することができるようにしよう。 ・文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解をすることができるようにしよう。 ・目的に応じて式を変形したり、用いたりすることができるようにしよう。	教科書 ノート ワーク
	2章 平方根	正の数の平方根について理解し、それを用いることができるようにしよう。 ・正の数の平方根の必要性に気づき、平方根の性質を調べることができるようにしよう。 ・正の数の平方根の計算の意味を理解し、簡単な計算をすることができるようにしよう。 ・数を素因数分解することができるようにしよう。	
2 学 期	3章 2次方程式	2次方程式について理解し、それを用いることができるようにしよう。 ・2次方程式の必要性を知り、2次方程式を解くことができるようにしよう。 ・2次方程式を利用して、問題を解決することができるようにしよう。	教科書 ノート ワーク 定規
	4章 関数 $y = ax^2$	具体的な事象のなかから2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見いだし、表現し、考察することができるようにしよう。 ・事象のなかに関数 $y = ax^2$ の関係を見いだし、表現することができるようにしよう。 ・表、式、グラフを用いて、関数 $y = ax^2$ の特徴を調べることができるようにしよう。 ・具体的な事象の考察に関数 $y = ax^2$ を活用することができるようにしよう。	
	5章 相似な図形	図形の性質を三角形の相似条件をもとにして確かめ、論理的に考察し表現することができるようにしよう。 ・図形の相似の意味を理解し、三角形の相似条件を見い出すことができるようにしよう。 ・三角形の相似条件を利用して、図形の性質を論理的に確かめることができるようにしよう。 ・平行線と線分の比について調べることができるようにしよう。 ・相似の考えを活用することができるようにしよう。	
	6章 円	・円周角と中心角の関係を理解しよう。	
3 学 期	7章 三平方の定理	三平方の定理について理解し、それを用いることができるようにしよう。 ・三平方の定理を見い出すことができるようにしよう。 ・三平方の定理を確かめることができるようにしよう。 ・三平方の定理を利用することができるようにしよう。	教科書 ノート ワーク
	8章 標本調査	ある集団の傾向を調べる調査について、その方法や、注意しなければならないことを考えよう。 ・調査方法とそれぞれの方法の特徴を確かめよう。 ・標本調査の方法と注意しなければならないことを考えよう。	

【評価の観点と評価の方法】 (通知表のつけ方)

評価の観点	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解
評価の観点の趣旨	○数学の学習に興味や関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする態度。 ○自ら進んで問題を解決しようとする態度。	○物事を数理的にとらえ、論理的に解決する力。 ○問題を解決するために筋道立てて考えることができる。	○数学的な表現・技能 (物事を数理的に表現し、またそのための技能) の習得し、確実に処理することができる力。	○数学の基礎的な概念や定義・定理を理解しているかどうか。
評価の方法	○授業の様子 (態度・発表) ○提出物 (ノート・ワーク) ○宿題	○定期テスト部分点 ○単元テスト、小テスト	○定期テストの部分点 ○単元テスト、小テスト	○定期テストの部分点 ○単元テスト、小テスト

【授業の受け方・学習のポイント】 (担当の先生からのアドバイス)

- ・説明を聞くところと、板書を写すところをしっかりと区別する。
- ・発問に対してしっかりと積極的に発言する。
- ・分からないところや疑問は、必ず質問する。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】 (担当の先生からのアドバイス)

- ・その日の授業の復習を必ずする。
- ・次回の授業内容の範囲を予習しておく。